２０２０年（令和２年）　１１月２２日　日曜日

東奥日報　１４面　掲載

高木美 女子 千メートル圧勝

女子マススタート 木村（八学大）4位

全日本選抜スピード八戸大会

スピードスケートの全日本選抜競技会八戸大会第2日は21日、八戸市のYSアリーナ八戸で行われ、女子1000メートルは高木美帆（日体大職）がリンクレコードとなる1分14秒89で優勝した。小平奈緒（相沢病院）が0秒86差で2位。

男子1000メートルは藤野裕人（ジョイフィット）が1分9秒26で優勝し、0秒02差で新浜立也（高崎健康福祉大職）が続いた。

県勢は3000メートルで佐々木海地（白山台中）が9位。女子1000メートルは大岩未奈美（八戸学院大）の20位が最高だった。

男子マススタートは土屋良輔（メモリード）が制した。女子は小坂凛（三重県スポーツ協会）が頂点。木村有希（八戸学院大）が4位と健闘した。（大久保拓也）

＝上位3位までと県勢

リンク記録更新 納得の滑り 高木美

女子1000メートルは高木美帆が2位の小平に0秒86差をつけ、昨秋の全日本距離別選手権でマークした自身のリンク記録を0秒35更新するタイムと順位は目標にしていたものを残すことができた」と、及第点の滑りを強調した。

夏場に痛めた膝の状態は徐々に上がるが「コーナーの感覚がしっくりきていない。どこまで修正できるか」。すぐに22日が影を潜めるレースが続く。「悲観することなく自分のペースで感覚を取り戻せたら。焦らずつくる意識の高さは相変わらずだ。

小平は本来のスピードらに言い聞かせた。

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです